

令和3年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	キャベツ10月どり作型の適品種「秋さやか」の特性		
[要約] キャベツ「秋さやか」は、10月どり作型において「夏さやか」よりも生育が早く、定植後65日程度で収穫開始となり、10月下旬までに収穫盛期に達する。球形は腰高～扁平であり、食味は基準品種と同等である。べと病の発生は「夏さやか」よりもやや多い。					
キーワード	キャベツ	秋さやか	10月どり	県北農業研究所 園芸研究室	

1 背景とねらい

本県は7～10月を出荷時期とする春系キャベツの夏秋産地である。主力品種「夏さやか」は8～9月どり作型に適する品種であるが、気温が低下する10月どり作型では収量が低下するため、安定生産が課題となっている。10月まで長期安定出荷できる産地を確立するため、当作型に適する品種について検討を行った。

【平成27年度試験研究を要望された課題「キャベツ長期安定出荷技術の確立」（八幡平農業改良普及センター）】

2 成果の内容

- (1) 「秋さやか」は、7月下旬から8月上旬の定植では、「夏さやか」よりも生育が早く、定植後65日程度で収穫開始になる。また、7月下旬定植では10月上旬、8月上旬定植では10月下旬に収穫盛期になる(表1、表2)。
- (2) 球形は10月中旬収穫では腰高～扁平、10月下旬収穫では扁平になる傾向がある(表2)。
- (3) 食味の総合評価は、基準品種「春さやか」と同等である(表3)。
- (4) べと病の発生は「夏さやか」と比較してやや多い(表4)。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 「秋さやか」は令和3年に(株)渡辺採種場から販売開始された品種である(図1)。
- (2) 当試験は、条間60cm×株間30cm(5,555株/10a)、基肥はN-P₂O₅-K₂O=16-18-16kg/10aで実施した。
- (3) 「秋さやか」を10月に収穫するための定植晩限は8月上旬である。8月中旬定植では収穫時期が11月以降になる(表1)。
- (4) 定植以降の気象条件の影響により、収穫時期が前後する場合がある(表2)。
- (5) べと病による減収を防ぐため、結球開始前からの防除を徹底する。
- (6) 収穫時期を遅らせることで調整重が増加し、上位規格割合が高まるが(表1、表2)、裂球や低温によるアントシアンの発生、凍霜害等に注意し、適期収穫に努める。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等 県中北部 農業普及員、JA営農指導員
- (2) 期待する活用効果
10月の出荷量が増加し、長期安定出荷が可能となる。

5 当該事項に係る試験研究課題

(H27-12) 春系キャベツ産地力強化のための安定生産技術の確立 [H27～R3/県単研究]

6 研究担当者

細越翔太・赤坂尚生・小野寺忠夫

7 参考資料・文献

- (1) 平成10年度岩手県農研試験研究成果書「品種 キャベツ『夏さやか』」
- (2) 令和3年度岩手県農研試験研究成果書「キャベツ10月どり作型に適する「秋さやか」及び「夏さやか」の栽培条件」

8 試験成績の概要(具体的なデータ)



図1 秋さやか(左:収穫期の様子 右:結球部の断面)

表1 定植時期とL規格以上割合の関係 (H28)

品種名	L規格以上割合(%) ^{※1}								
	7月下旬定植 播種: 6/29 定植: 7/25			8月上旬定植 播種: 7/12 定植: 8/4			8月中旬定植 播種: 7/22 定植: 8/16		
収穫日 (定植後日数)	9/28 (65)	10/7 (74)	10/17 (84)	10/17 (74)	10/26 (83)	11/7 (95)	10/26 (71)	11/7 (83)	11/18 (94)
秋さやか	43	60	100	43	63	83	7	53	63
夏さやか	7	47	100	13	33	77	0	7	20

※1 調整重1100g以上の割合(調査日までの累計)、全30株調査

※2 灰色部分は収穫盛期(L規格50%以上)に達した日

耕種概要(表1、表2)

- 試験場所 県北農業研究所(軽米町)
- 播種日 H29①6/28 ②7/10
H30・7/11、R1・7/16、R2・7/13
- 育苗 200穴トレイ
育苗培土「セル苗専用N170」
(N-P₂O₅-K₂O =170-1200-190 mg/ℓ)
- ほ場 畑地、黒ボク土
栽培前に牛ふんたい肥 2t/10a 施用
キャベツ専用肥料使用
(N-P₂O₅-K₂O=15-17-15%)

表2 収穫物調査の結果 (H29~R2)

調査項目	年次/定植日 収穫日 (定植後日数)	H29/7/26		H29/8/3		H30/8/13		R1/8/9		R2/8/7	
		9/29 (65)	10/10 (75)	10/16 (75)	10/27 (85)	10/18 (66)	10/29 (77)	10/15 (67)	10/22 (74)	10/13 (67)	10/23 (77)
		品種		品種		品種		品種		品種	
調整重(g)	秋さやか	1113	1478	959	1124	1022	1530	1353	1681	1004	1306
	夏さやか	1096	1309	896	1066	863	1191	1156	1495	525	780
L規格以上の割合 ^{※1} (%)	秋さやか	63	100	16	53	47	90	93	97	37	80
	夏さやか	46	83	0	13	10	83	80	100	0	3
収穫株数 ^{※2} (株/10a)	秋さやか	3499	5555	888	2944	2592	4999	5184	5369	2036	4444
	夏さやか	2555	4610	0	722	555	4629	4444	5555	0	185
球形型 ^{※3}	秋さやか	腰高	腰高	腰高	扁平	扁平	扁平	扁平	扁平	扁平	扁平
		0.73	0.72	0.71	0.67	0.67	0.67	0.60	0.60	0.60	0.61
	夏さやか	腰高	腰高	腰高	扁平	腰高	腰高	扁平	扁平	扁平	扁平
		0.73	0.72	0.71	0.65	0.72	0.74	0.64	0.64	0.62	0.59

※1 調整重1100g以上の割合、灰色部分は収穫盛期(50%以上)

※2 定植株数、L規格以上の割合から算出

※3 下段は球形指数を示す 0.40~0.70:扁平、0.71~0.80:腰高、0.81~1.10:球形(岩手県調査基準)

表3 生食での食味試験結果 (H30)

品種	食味試験項目 (5段階評価)						
	甘み	柔らかさ	歯ざわり	総合評価			
秋さやか	2.5	*	2.4	**	3.1	ns	2.6 ns
夏さやか	3.3	ns	2.7	ns	3.2	ns	3.0 ns
春さやか(基準)	3.0		3.0		3.0		3.0

※1 *, **はt検定の結果、基準品種と5%水準、1%水準で有意差があることを示す nsは有意差なし

表3 試験概要: H30年10月23日実施(対象16人)

試験方法: 外側から葉を5枚程度と芯を取り除き、厚さ5mm程度のくし型に切って非加熱で提供。基準を3として、各項目1~5(不良~良)の5段階評価。

表4 べと病の発生程度 (R3)

品種	発生程度別の割合(%)			
	無	少	中	多
秋さやか	80	20	0	0
夏さやか	93	3	3	0

表4 調査概要: R3年10月11、12日実施

試験方法: べと病は自然発生。収穫物調査時に1個あたりの病斑の発生程度を少~多として全30個調査。

耕種概要: 試験場所 県北農業研究所
定植8/6 収穫10/11(定植後66日)
条間55cm×株間30cm
窒素施肥量20kg/10a
約10日間隔で病害虫防除を実施